

小学 道徳 4

はばたこう明日へ



教育出版

日本のよさ 世界のよさ

考えよう

●赤飯が、今も食べ続けられているのは、どうしてか、考えて話し合しましょう。

★「わたし」は、赤飯が日本の伝統の食べ物だとわかって、どうしてうれしかったのでしょうか。

深めよう

●赤飯は、日本の伝統文化であって、同時に、地いきによっていろいろなちがいがあります。日本や地いきの伝統の食べ物で、すきなものとその理由を発表しましょう。

- しっかり考えられた
- 新しく気づいたことがあった
- 大切にしたいことがわかった

日本の文化に親しむ

25 赤飯



今日は、外国語活動の授業があった。A.L.T.のジュアン先生が、交流給食でやってきた。六年生の卒業式が近いので、給食には赤飯が出た。

ジュアン先生は、赤飯におどろいて、これは何かとたずねた。「赤飯です。」

わたしは、日本語で答えた。

しかし、ジュアン先生は、わからないようだった。

「えっと……。赤飯……。あ、レッドライスです！」

とつけ加えた。

ジュアン先生は、思い出したように、「オウ、フェスティバルレッドライス！」

と、笑顔でこたえてくれた。

「ん？ フェスティバル？」

わたしは、不思議に思った。そこで、家に帰って、赤飯について調べてみた。

赤飯

昔から季節の節目に食べた行事食。赤い色をしていてめでたいという理由で、出産祝い、たんじょう祝い、七五三、入学・卒業祝い、しゅうしよく祝い、成人祝いなど、身近な祝いごとの行事で食べられるようになった。

材料は、小豆だけではなく、地いきによっては、落花生やいも、ごまなどを使ったさまざまな赤飯がある。

「なるほど、だから『フェスティバル』なんだ。赤飯って、日本の伝統文化そのものなんだ。」

赤飯が、お祝いごとで食べる日本の伝統の食べ物だとわかって、なぜかとてもうれしい気持ちになった。そして、わたしは、ほかにも日本らしい食べ物がないか調べ始めた。

編集委員会 作



赤飯の給食

赤飯っておいしいよね！

